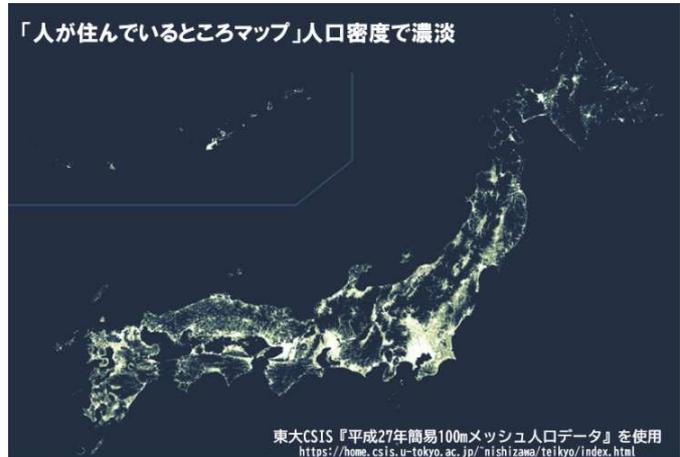


## 5. 解説：日本の居住地状況（国土の姿）の将来

日本の居住地は現状でも森化に近い状況（右図）にあるが、今後はさらに無居住化が進む。

国立社会保障・人口問題研究所が 2013 年に出した 2040 年のわが国の「未来図」（中段の図）は、消滅していく市町村（1,741 の市区町村のうち 894）を抜いた地図である。「日本沈没」を想起させる。直近に出された「令和 5 年推計」に基づく未来図はどうなっているか、見える化が待たれる。



出典：日本の「人が住んでいるところ」を光らせてみたら色々と興味深かった「北海道暗すぎ…」「福島でゾクツとした」togetter 2021年9月4日  
<https://togetter.com/li/1769474>

2050 年には、大都市圏以外の人口の減少（大都市への人口集中化）が進み、現在の居住地の約 20%が無居住化していくと予想（最下段の図）されている。



人口が減り始めると、各種の生活サービスの維持・存続が難しくなり、人口減少が進み、ついには無居住化、そして、放置されて森化という負の連鎖に入る。

### 2050 年におけるメッシュ別の人口減少率

